

《ご報告》

{ 東日本大震災復興を願って }

第4回

鎌倉アート・クラフト市

2015年3月8日(日)10:00~15:30鎌倉市役所駐車場にて

心をひとつに~つなげよう みちのくの未来へIII~

「東日本大震災から4年 東北支援と鎌倉の防災を考える日」

3.11ALL鎌倉実行委員会主催(鎌倉市協働事業)

今年から鎌倉市との協働事業となり、より充実した集いとなりました。

アトリエ・ラ・プリマヴェーラは、昨年に引き続き構成団体のひとつとして参加致しました。

屋外でのイベントに際しまして、その日の天候はとても気になるものです。

3月に入り雨や曇りの日が続き、まさに季節の変わり目、不安定な空模様で天気予報も定まらず、雨なの、それとも曇りなの？とハラハラしながら迎えた当日は、強風と時折ぱらぱらと雨が降る冷たい朝となりました。マフラーにダウンジャケット、お手伝いの方々に配る携帯カイロ、雨よけビニール等々、しっかり防寒対策をしての出発です。

すでにアトリエに届いていた参加者の作品と、さまざまな荷物を車いっぱい詰め込み会場に着くと、すでに大勢の実行委員会 & 構成団体の方々が準備に奮闘していました。早朝から土嚢作りとテント設営が始まり、私達のブースにもすでにテントが設置され、テーブルや椅子が届けられていました。

割り当てられたブースは会場奥の角地で、食品関連と連結しない独立したブースでした。時折、強い北風が吹き抜けます。搬入を済ませ、お手伝いの皆さんが到着する前、ブースに一人になるほんのひとときがありました。

いよいよ迎えたこの日でしたが、灰色の空の下、雲行きを仰ぎながらふと気持ちが下向きに。テーブルを拭いても拭いても、霧雨のような雨で再びテーブルが濡れてしまうのです。

私はこの時、自分はいったい何をしているんだろう…、喧噪の中ひとり手を止め、ぼんやり立っていました。

「あー、これじゃだめだめ！」

そこへ、数人の男性の元気な声に、ハッとしました。

テントと土嚢を結んでいる紐を見ている。

「…？」（私）

「これじゃあ、テントが倒れちゃうよ、結び直した！」

そして、数人で紐をほどき結び直して、土嚢を適切な位置に動かし確認して下さいました。

「これで大丈夫ですよ～！」

皆さん元気で、とても清々しい笑顔でした。

あっけにとられている私、

「…あっ、ありがとうございます！」

この日の強風に柔軟に対応し、さっと次のテントのチェックに移動してゆく頼もしい姿でした。この時です。

私の中に、スイッチが入りました！

大丈夫、大丈夫なんだ！テントも、みんなも！そして私も！

もちろんこれから始まる鎌倉アート・クラフト市も！

私は自分の足がしっかり地を踏んで、力が湧いてくるのを感じました。

この日の為に、一年近く前から鎌倉のボランティア団体を総括した3.11ALL鎌倉実行委員会の方々が、着々と準備をして迎えた朝。東北から前日着いた方々と一体となりみんなを迎えた、みんなでその積み上げた思いを実現する朝なのです。

運搬車や物を運ぶ音、準備を手伝う人たちの声が、寒風の中、生き活きと潔く、耳に響いてきました。寒い朝だけど、そこにいる大勢の人たちの心はなんて熱くて温かいのだろう。

みんな同じ空の下、同じ思いで動いているんだ。

そう感じた瞬間でした。

滞っていた私の心にも熱く温かいものが流れ、動き出したのです。

午前8時を回り、アトリエ・ラ・プリマヴェーラのブースにお手伝い下さる方々が集まってきました。前日夜の伝達事項通り、皆さんしっかり防寒して、そしてひとりひとりが温かな笑顔です。そして搬入時間に入り、初めてお会いする初参加の方々が作品を持ち集まってきて、テントの下は今年も花が咲いたように、作品で賑やかになりました。

そしていよいよ開場午前10時です。

もの作りアーティスト総勢27名の第4回鎌倉アート・クラフト市 が、いよいよスタートです。

ブースには、ひとり、ふたりと覗きに来てくれた友人や知人に嬉しい悲鳴をあげながら、来場者が続々と視野を埋めてゆきます。

そして時間が流れてゆきました。

先程まで降っていた雨が、いつの間にか上がっていた事にも気が付かず…。

私は本当に幸せものですね。

無我夢中とはこういうことでしょうか。



それでは、全部ご紹介出来ないのが残念ですが、ご参加下さった27名のもの作りアーティスト様の作品の一部をご紹介させていただきます。



昨年も大人気でした、鎌倉スワニーの生地等で作られたトートバッグ。今年は、高校生の娘さんもシリコンゴムで編んだプレスレットで、もの作りアーティストデビュー。親子でご参加です。毎回お手伝い下さり、いつもたくさん私をサポートして下さいます。



牛乳パックなどエコな素材で出来ているクラフトバンド。カトラリーケースなどの他、ちっちゃなカゴのストラップ等、ひとつひとつが細かく正確に編んであり驚きです！



初参加作品:彩り美しい手織りのショールは、春先にとっても重宝しそう。裂き織りのバッグとポーチは早いもの勝ちでした！



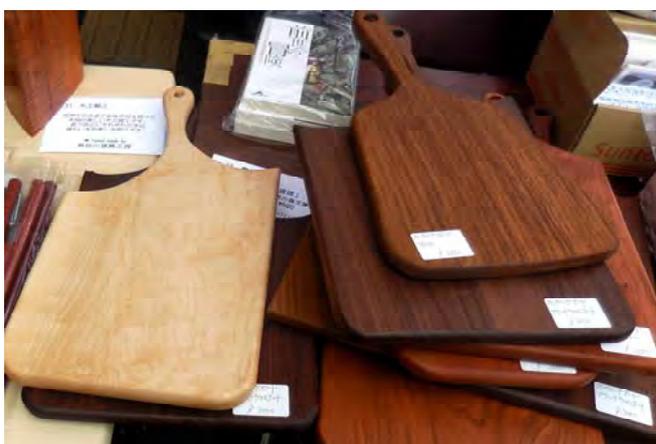
初参加作品:若手イラストレーター様のiPhoneケース、ステッカー、パッチ等。今後のご活躍が楽しみです♥  
 「動物が持つかわいさで、見た人が笑顔になれるような作品を制作しています。  
 少しでも幸せな気持ちにつながると嬉しいです。」 (メッセージカードより)



デコレクラフトのバラのプローチは、花びらの一枚一枚が手作りです。  
 着物の古布で作ったお手玉は、感触がよくて指輪などのアクセサリを置くクッションにして使ってもいいですね。  
 初参加:アート書家様の手描きの書とイラストの絵はがきや色紙です。その言葉に心が和みます。



初参加:緑茶クッキーとクラフトバンドのカゴ。  
 横浜の創作銘茶店主とクッキー屋さんのコラボ。  
 緑茶の薫り高く、ほんもののお味でした。  
 パッケージには「心をひとつに♥」のラベルも作っ  
 て下さり嬉しいかぎり。完璧ですね!



毎回ご出品下さるスペインタイル工房絵付けコースター、木工細工のカuttingボードは木目がとても美しいです。皮の取っ手が付いたバッグや、手編みのシュシュ。エッセイスト森下典子様からのサイン入り書籍「前世への冒険」等



陸前高田市の子育て支援センター「きらりんきっず」を応援している静岡のママグループ「はびまま」様の手作り子供服。  
 陸前高田市の松をモチーフとした応援グッズ「松ぼっくりちゃん」のTシャツやタオルチーフは、特定非営利活動法人HANDS (Health and Development Service)様よりお預かりして、販売させていただきました。  
 売上は、直接子育て支援センター「きらりんきっず」へ送金し、活動に役立てていただきます。



初回からずっと引き継いで販売させていただいている、鎌倉の海岸で拾ったシーグラスや貝で作ったネックレス。4回目を迎えよいよ残り少なくなってきました。感謝感謝です。とってもすてき、だけど感慨深いメッセージが添えられています。改めてご紹介させていただきます。

「海に流れ着いたガラスビン、岩や沙、波にもまれ、長い時間をかけて丸くやさしい形になりました。アルミ缶やペットボトルが多くなった今、ビンが海に流れ着く事も、少なくなったことでしょうか。だとすると、このカケラ達はどの位の年月を海で過ごし、私たちの所へ戻って来たのでしょうか。海岸に行ったら、足元も見てください。何かに出会えるかもしれませんから。」

会場には、特設ステージが設けられ、岩手県、宮城県、福島県、それぞれの地元で活躍している5組のミュージシャンのライブが、会場を盛り上げて下さいました。

屋内会場では、鎌倉市中学生防災サミットや、さまざまな活動報告やパネル展示など、東日本大震災の教訓を活かし、たくさんの防災の意識を深める催しが繰り広げられました。

たくさんのテントでは、東北の美味しい屋台や物産が並び、「買う」「飲む・食す」事で、鎌倉から東北を支援&応援する活気で溢れました。

昨年引き続き、岩手県大船戸市のシンガーLOWBROW。その明るく温かい歌声に、皆さん元気をいただきましたね。



昨年引き続き、岩手県大船戸市のシンガーLOWBROW。その明るく温かい歌声に、皆さん元気をいただきましたね。



使用される食器はリユース。食べ終わって回収場所に持って行くと、50円戻って来ます。もちろん募金箱に落としてもOK！  
多くの方が飲食する空間では、必ず発生するゴミの問題がありますね。でもここでは、無料で振る舞われた1000匹分のサンマの骨の行き先、リユース食器の行き先が明解で、すばらしく潤滑に回収&分別されていました。  
こういうところに、チームワークの良さが発揮されるって、なんだかとっても爽快です！

雨は上がり、時折青空が覗く事もありましたが、この日は寒さの厳しい一日となりました。  
そんな中、お昼近くになると、親子連れからご年配の方々まで、たくさんのご来場者でテーブルが埋まりました。辺りは、美味しい良い匂いでいっぱいです。

**塩焼きサンマ1000匹が無料**で振る舞われ、東北の味のそれぞれの屋台にも、しばし行列ができました。この日は、約2800人の来場者があった事が後に報告されました！

震災が起きた時刻午後2時46分には、会場全体で黙祷を捧げ、多くの方々が目を閉じ、しばし亡くなった方々に祈りを捧げました。会場全体が信じがたいほど、静かになったひとときでした。この時、大きなとても温かな祈りが届けられたと、深く、深く感じました。 合掌

鎌倉アート・クラフト市会場を飾って下さった主役である手作り作品のひとつひとつは、作り手の努力と大切な時間と心が詰まった宝物です。

販売させていただき全額を復興の為に使わせていただくという、本当に大胆な鎌倉アート・クラフト市にもかかわらず、毎回ご出品下さる方々がいます。そして今回も、初めてご出品下さる方々が加わりました。このような方々に支えられ、第4回目を開催する事ができ、私は感謝の気持ちで胸がいっぱいになります。

ご来場下さいました皆さまと、作り手の平和で豊かなエネルギーに満ちた作品に触れ合い、和やかな楽しい時間を味わいながら、震災から4年経った現状を知る事、今も堪え忍んでいる方々を想う事、防災について考える事…震災の傷跡を再び思い起こすのは辛いことですが、風化させず、たくさんの人たちと集い、温め合う事の大切さを感じる一日となりました。



そして今回も、被災地から参加された方々とのさまざまな触れ合いがありました。その中で、お手伝いメンバーの方が、お隣のテントの方と交わされた会話がありました。そのお話しを伝え聞いて、今も、私の心にとても強いメッセージとなって残っていますので、そのお話しを述べさせていただきたいと思います。

今回、鎌倉アート・クラフト市のお隣のテントは、大船渡市から来た「牡蠣小屋」さんでした。「私たちは、ずっと海からの恵みで生活してきましたが、東日本大震災で津波が起こり、海に全てを持っていかれてしまいました。そして漁が出来なくなってしまったけれど、牡蠣の養殖を再び起こす事ができた時、大地震で海底のプランクトンがかき回された事で、通常の倍の速さで牡蠣が成長したんです。悪いことばかりではないんですね。その後に良い事も返してくれる。そんな自然の恩恵もあるんですね…。」

そして大きな殻付きの蒸し上がった牡蠣を、私達のテントに差し入れして下さいました。胸が熱くなりました。人も自然の一部ですが、自然とは何か、自然を敬い共存していくという事はどういうことか、それは永遠のテーマですね。

また昨年、お隣のテントだった福島県食べてつながろう西会津の会の方が今回も参加されていて、ブースを尋ね、声を掛けて下さいました！1年ぶりの再会です。嬉しい事です。

そして3時半の時報と共に、第4回鎌倉アート・クラフト市も無事閉幕となりました。

3.11ALL鎌倉実行委員会が掲げたタイトルである「心をひとつに」というメッセージを、今年も会場を訪れた皆さまそれぞれが感じ、受けとめられた事と思います。ご来場下さった皆さま、応援下さった皆さま、本当にありがとうございました。

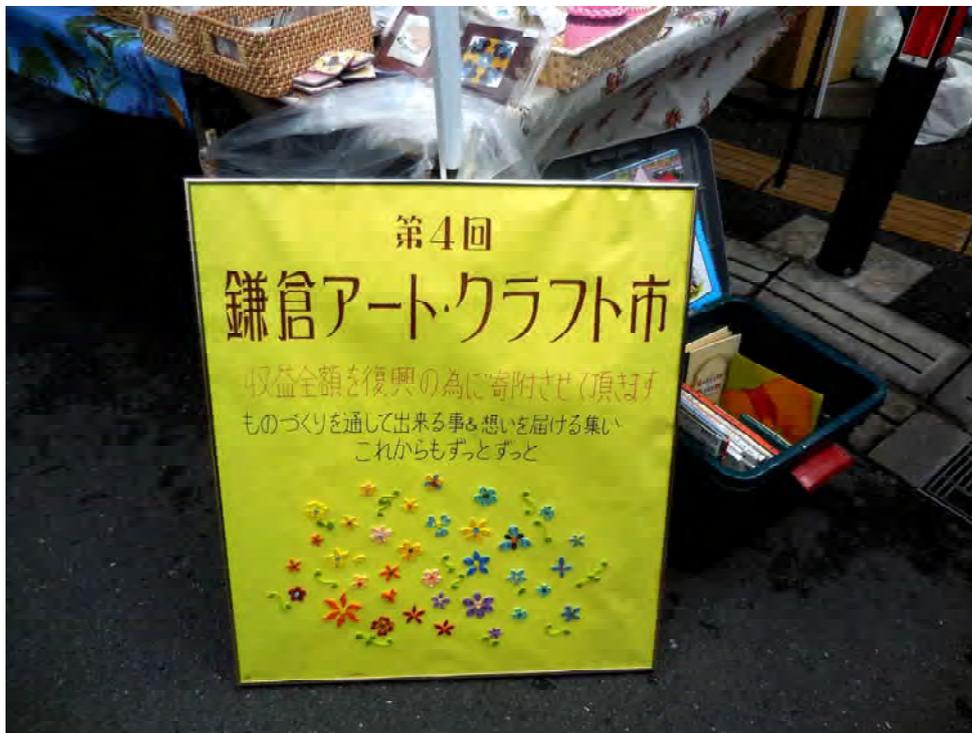
大切な手作り作品をご出品下さいました方々、  
さまざまな手続き、ポスター、チラシの配布&宣伝、  
当日、寒い中笑顔でお手伝い下さった方々に、心から頭が下がります。

ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。  
最後に、主催下さいました3.11ALL鎌倉実行委員会及び鎌倉市に、  
心からお礼を申し上げます。

今年は、支援から応援への気持ちを新たに、鎌倉アートクラフト市の看板ポスターを新しく作っていただきました。

朝、突風と霧雨に当たって少しふやけてしまいましたが、立体的に工作した繊細なお花が貼られています。

日だまりにお花が咲いているような光に満ちたデザインで、優しい温もりが感じられます。



当日、会場でお手伝いの方々が胸に掲げる鎌倉アート・クラフト市のパスカード、来場者にお配りするチラシも、すべて、ご協力下さった方々の手作りです♥

♥寒い中、笑顔を決やさずお手伝い下さり、鎌倉アート・クラフト市を支えて下さった皆さま♥

本当にお疲れ様でした。

寒い一日でしたが、皆さまのおかげで、心は温かく潤っていました。ありがとうございました。



<出品者リスト&メッセージカード> 別添付のファイルをご覧ください。

#### <協力>

岩田恵 アドバイザー及び広報、会計監査等

河合宏宣 搬入搬出及び会計

鎌倉市観光協会、鎌倉ケーブル、広報かまくら、タウンニュース、鎌倉市図書館、生涯学習センター、アトリエ陶彩館、鎌倉婦人子供会館、井上蒲鉾店、JR鎌倉駅、鎌倉近隣のコンビニエンスストア、その他たくさんの方々に応援して下さい、ポスター・チラシ宣伝にご尽力下さいました。

#### <会場お手伝い>

岩田恵 室田孝代 鈴木順子 長谷川建築工房 増田正昭 原田愛子 霜田有沙  
光岡佐輝子 岩田杏 竹村碧希

<後援・協賛・協力> 主催:3.11ALL鎌倉実行委員会(鎌倉市協働事業)に準ずる

### <会計監査報告>

2015年3月16日、アトリエ・ラ・プリマヴェーラにて会計監査が行われました。  
全収益金は下記の金額に相違ない事を、確認していただきました。

バザー売上	108,610円		
寄附(募金箱)	7,205円		
<b>合計金額</b>	<b>115,815円</b>		
経費:	10,263円	(内訳)	
		テント一張	3,000円
		印刷	3,521円
		駐車場	2,400円
		切手	492円
		コピー	375円
		雑費	475円

**収支合計: 105,552円**

101,152円を、桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会資金へ寄附致しました。  
4,400円を、陸前高田市子育て支援センター「きらりんきっず」へ送金致しました。

27--3-17	モモ カキイカイヒカシニ	*100,000*	三井住友銀行	933
3	振込予約 柿タ`イフサイイ`イフイ	*0*	神保町支店	電信
27--3-18	扱付 様	現金	普通 #2119673	0001
27--3-17	モモ カキイカイヒカシニ	*1,152*	三井住友銀行	933
4	振込予約 柿タ`イフサイイ`イフイ	*0*	神保町支店	電信
27--3-18	扱付 様	現金	普通 #2119673	0001

(桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会資金振込帳のコピー)

\*組織、および活動報告などの詳細は、各サイトをご覧くださいようお願い申し上げます。  
桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英会資金<http://momokaki.org>  
陸前高田市の子育て支援センター「きらりんきっず」<http://kirarinkids.blogspot.jp>  
特定非営利活動法人HANDS(Health and Development Service) <http://www.hands.or.jp>

〈昨年の第3回鎌倉アート・クラフト市「ご報告」の中で述べさせていただいた事、  
今も私にとってその思いや願いは変わりません。改めてもう一度、言葉にさせていただきます。〉

後日、お昼下がりのひととき、部屋でイベントの後片付けをしている時、  
ふと、あの3月11日の震災の日は、  
同じようにここ鎌倉に、美しい青空が広がっていた事を思い出しました。  
こんな美しい空が広がっている下で、大地がかつてないほど大きく揺れた事、  
この美しい空が続く三陸地方には、その後かつてないほどの大津波が起きた事、  
そして原発事故。

この世の中には自然災害に限らず、  
人間が生きていく上での安らぎと苦難は表裏一体なのかもしれません。

未曾有の震災の日から、今日までの月日の間にも、さまざまな事がありました。

この災害があった事で生まれた新しい出会いもありました。

人と人、人と自然、地球というひとつの星について、

たくさんの大切な気づきも生まれましたね。

日常の有り難さが見直され、今というかけがえのない時の愛おしさを、

私も含め多くの方が感じていると思います。

大切な人と一緒に過ごせる時間、さまざまな人との、ものとの出会いや感動、

笑ったり時には涙しながらも、

その瞬間瞬間に見る景色や光や風に包まれ、毎日が流れてゆきます。

そして、未だ仮設住宅に住まわれている方々や、ふるさとや家族と離れた生活を余儀なくさ

れている方々、家族や友人を亡くし、深い悲しみの中にいる方々を想い、

少しでも力になりたいと、何とか復興に繋がりますようにと私達の想いは尽きませんね。

やはりこれからも、私に出来る事、皆さまと共に出来る事を見つめ、

願いを発信していきたいと思います。

感謝を込めて、

アトリエ・ラ・プリマヴェーラ

河合りえ子



Botticelliのマリアより「祈り」陶板画by Rieko Kawai

Atelier la Primavera

<http://www.atelier-la-primavera.com>